# 令和3年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
中山間地域の 活性化	林業の活性化	1	森林経営管理事業
		2	渡良瀬川流域森林林業活性化センター参画事業
		3	佐野市林業振興会支援事業
		4	市有林管理事業
		5	林道維持管理事業
		6	林道施設長寿命化事業
		7	森林路網整備事業
		8	県営林道事業
		9	分収造林事業
		10	松くい虫防除事業
		11	間伐促進支援事業
		12	林業·木材産業構造改革事業
		13	林道作原沢入線改良事業

P I III		<u>×</u>	ተነ ላተ	J	十戊								L.	水件ボー 「	1202	
主教	事業名	木	. <del> </del>	営営	田田	<b>₹</b>				評	価区分	)(事前	評価・事後評価)	事後評	価(A•B表)	
争仍	争未有	林	一个社		生子	未				担	_	<b>旦当部</b>	産業文化スポーツ部	担当課	農山村振興課	
	基本目標	1	魅力	ある唇	産業で	賑わ	う活力	]あるま	ちづくり	組	織担	旦当係	森林整備係	担当課長名	大川 登	
政策	政 策	2	地域	資源を	を活か	した	まちつ	<b>i</b> くり			新規事業・継続事業			継続事業		
体系	施策	3	中山	間地均	或の流	舌性化	í				実施計画事業・一般事業			一般事業		
	基本事業	2 林業の活性化								事	事 市単独事業·国県補助事業			市単独事業		
	短縮コード 会計 款 項 目				田				業				任意的事業			
予算 科目	9896		一般	6	2	1	杰 tt ś					実加	<b>拖方法</b>	直営		
יין דו	9090		月又	U	۷	'	木木 个个 市			分		事	業分類	施設維持管	理事業(市主体)	
事業計画	単年度	単年度繰り返し 期間 <sup>令和元年度~ 年度</sup> 根拠 法令 条例等		森林経営管理法		リー	ディン・	グプロジェクト	彭	核当なし						
計画	平十戊				市長市政公約											

- 1. 事務事業の現状把握【DO】
- (1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

	The state of the s							
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)							
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和3:	年度実	績(令和3年	度に行った主	な活動内容	)	
	平成31年4月1日に施行された森林経営管理法に基づき、森林資源の適切な管理を推進する事業である。 主な事業内容は、適切な管理がされていない森林の所有者に対して意向調査を実施し、森林所有者が所有する森林について、市への経	意向調査を実施した。(調査実 経営管理権集積計画作成業務	施面積 委託を	i 136ha) i行った。(作	成面積 36ha	a)		
	営管理委託の希望があった場合には、経営管理 理権集積計画を作成し、経営管理の委託手続	活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
	きを行う。 対象森林の状況により、民間事業者への再委 託や市による直接管理を行う。	意向調査の実施	人			27	23	28
	正や印による直接官項で117。	集積計画策定	ha			_	4	36
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としている	とすか?)						
	経営管理が行われていない市内の人工林	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		人工林面積 	ha			12,544	12,544	11,937
l	③意図(この事務事業によって、対象をどのよう	5た仕能にしたいのですか?)						
	経営計画が策定されており、適切な管理が行			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
ш	おれている。	成果指標	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
		森林経営計画面積	ha			5,071	5,231	5,192
			<b></b>					
(A)								
4	)結果(どのような結果に結びつけますか?)							= o = =
	安定した林業経営が行える。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		木材伐採面積 	ha			195	287	301
(	の) 松東業典の推移・内部							

(2)総事業費の推	移•内訳

		財源内訳	単位	H29年度(実	績)	H30年度(実	績)	R1年度(実	績)	R2年度(実	₹績)	R3年度(実績)	
		国庫支出金	千円										
		県支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他	千円								715		18,258
		一般財源	千円										
	重	事業費計(A)	千円		0		0		0		715		18,258
	業	事業費の 内訳 千F		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	事業費									業務委託料	715	通信運搬費	13
入												業務委託料	18,246
量													
			十円										
	_	7.10 W B // T   1 W											
	/	正規職員従事人数	人						10	2		2 2	
	件	のべ業務時間					0		40				
	頁	人件費計(B)		0			0	153					
	トータ	タルコスト(A)+(B)	千円	0		0 153		1,079		18,803			

事務事業名 森林経営管理事業 担当部 産業文化スポーツ部 担当課 農山村振興課 担当係 森林整備係

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等 ①この事務事業は、いつ頃、どのような |森林所有者の経営意欲の低下や所有者不明森林の増加等が懸念される中で、林業の成長産業化 と森林資源の適切な管理を推進するため、森林の経営管理を市町村や意欲と能力のある民間事業 きっかけで開始しましたか? 体によって持続的に行う措置を講じる森林経営管理法が平成31年4月1日から施行された。 材価の低迷等により森林所有者の維持管理もままならず、荒廃した森林が多くなっている。適正な 管理を行わないと森林の多面的機能を失い、様々な災害を起こす危険があり、適切な管理が必要と ②事務事業を取り巻く環境(対象者や 国・県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期や合併前と比べて どのように変化していますか? ③この事務事業に対して、関係者(市 森林経営管理法の施行による事業であり、きっかけとなった意見はないが、森林経営管理制度開始 民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか? 後は、その実施に対する関心が高まっている。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(17間) 人文の計画相外(17)) アロダー 女日の小地											
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組										
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	意向調査の基礎となる森林所有者情報の更新と情報を活用するためのシステムの更新を行った。										

#### 2. 事務事業の事後評価【Check】

	①政策体系との整合性 この	事務事第	業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?							
目	結びついている	理由· 改善案	経営管理が行われていない森林を市町村が仲介役となり、森林所有者と民間事業者をつなぐことにより森林の適切な経営管理を行うものであり、林業の振興が図られる。							
的	②公共関与の妥当性 なぜこ	の事務事	業を市が行わなければならないのですか? 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか?							
妥当性評!	市が行わなければならない	理由· 改善案	森林経営管理法によって、市町村の役割は位置づけられている。							
価	③対象・意図の妥当性 事務	事業の理	見状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか?							
	妥当である	理由· 改善案	経営管理が行われていない森林を市町村が仲介役となり、森林所有者と民間事業者をつなぐことに より森林の適切な経営管理につながる。							
	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか? 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか?									
有効	成果向上余地がある程度ある	理由· 改善案	本事業を進めることにより、経営管理が行われていない森林について、佐野市がとりまとめて民間 事業者に再委託する。又は佐野市が直接管理を実施することで、森林の管理の適正化を図られる。							
性	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか? ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか?									
評		類似事	務事業名							
価	類似事務事業はない	理由・								
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	改善案								
効	⑥事業費・人件費の削減余均	也 事務事	事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか?							
率性評価	削減の余地はない	理由· 改善案	事業が進むに従い、管理する森林は累積し、事業量は増加することから、削減の余地はない。							
公	⑦受益者負担の適正化余地	この事務	事業の受益者は誰ですか?事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか?							
平性評価	受益者負担を求める必要がない	理由・	森林の持つ国土保全、水源の涵養、地球温暖化の防止などの多面的機能を維持することから、受益者は市民全員と考えられる。加えて財源は森林環境譲与税を財源としており、これは森林環境税として国民全員に負担をして頂くこととなっている。そのため、新たに受益者負担を求める必要がない。							
総	⑧本事業の休止・終了条件(	本事業は	はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)							
合評価	本事業の根拠となる法律が原	廃止となっ	ったとき。							

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果 (3)改革・改善を実現するうえで解 課題(壁)とその解決策							
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。						
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	Ī			コスト				
(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)			削減	維持	増加			
		白上						
	J !	成料果		0	×			
		但 下		×	×			

# 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 4 年 6 月 30 日 政策体系コード 1232

R3年度(実績)

н і ін	4712	, , ,	_	13.11		十汉									->1	X 1111X		_
主教	事業	٠ ح	油	- 白 ※	5       <del>     </del>	· (武 杰	5 <b>**</b> **	<b>- 华</b>	ト州ルー	<b>ト・</b> / / / / / -	一参画	車業	評	価区分(事育	「評価·事後評価)	事後評	価(A·B	表)
<b>平</b> 7力	中木	10	似又	() (风)	1111111	以水水	<b>ኮ</b> ባን	不不	1 IXIL	ヒンター	<b>少</b> 国·	<b>学</b> 未	担				担当課農山村振	
	基本	目標	1	魅力	ある産	産業で	賑わ	う活力	5力あるまちづくり		組	織 担当係	森林整備係	担当課長名	大川	登		
政策	政	策	2	地域	資源を	を活か	した	まちづ	<b>(4)</b>				新規事	業・継続事業	継続事業			
体系	施	策	3	中山	間地均	或の流	5性化	;						実施計画	事業•一般事業	一般事業		
	基本	事業	2	2 林業の活性化									事	市単独事業	美•国県補助事業	市	単独事業	
	短縮=	<u>ا</u> ب	113	会計 款 項 目			予算細事業名			業	任意的事	業·義務的事業	任意的事業					
予算 科目	992	22		一般	6	2	1	海白油	良瀬川流域森林林業活性化センター参画			区八	実施方法			直営		
17 11	991	23		月又	U	۷	•	<b>波</b> 及/4	リロ ルルツ	<del></del> ተጽ የጥ የጥ <del>፣</del>	たん 注心	ピンダー参画	分	事	業分類	参	画事業	
事業	出石	FŒŚ	·品 (.	り返し	事業 期間	4	<b>Ĕ度~</b>	年度	根拠法令			林林業活		リーディン	ノグプロジェクト	該	対なし	
計画	##	FI交ī	深り	ル返し	期間	4	□反~	十戊	条例等	性化セン	ンター規	利		市長	市政公約			

- 1. 事務事業の現状把握【DO】
- (1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)							
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和3:	年度実	績(令和3年	度に行った主	な活動内容	)	
	渡良瀬川流域内の森林整備、木材生産の低コスト化や木材流通・加工の合理化等を推進し、多様な森林の整備や森林の公益的機能の維持増進並びに地域材産地の形成と持続可能な森林・林業・林産業の振興を図る。	展示会を開催した。会議、研修会、交流会及び木コ	文教室(	よコロナ対策	に伴い中止			
	・総会、研修会、展示会等を開催する。  ・専門部会(ブランド化推進部会・行政部会・原	活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
	木安定供給部会) 	会議出席回数	回	1	1	1	0	_
		研修会参加者数(のべ人数)	人	1	1	1	0	_
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としている	ますか?)						
	渡良瀬川流域・森林林業活性化センター	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		対象団体数	団体	1	1	1	1	1
			<u> </u>					
目	③意図(この事務事業によって、対象をどのよう	」 うな状態にしたいのですか?)				l	l	
	森林・林業・林産業の振興を図る。	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		交流会の開催回数	回	1	1	1	0	_
		市内での木工教室の開催回 数	回	1	1	0	0	_
4)	結果(どのような結果に結びつけますか?)							
	健全で木材生産性の高い森林が創出されて  いる。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		木材伐採面積	ha	445	150	195	287	301
(2	2)総事業費の推移・内訳							

(2	)総	<u>:事業費の推</u>	移•内	訳			
		財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(実績)
		国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		スの出	$\tau$ m			I	T

			1 1 3										
		県支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他	千円										
		一般財源	千円		71	71		71			71		
	事	事業費計(A)	千円	71		71		71		71		71	
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
+,	九書			負担金	71	負担金	71	負担金	71	負担金		負担金	71
7	χ -\ λ												
旨	計	市業弗の											
ľ	-	事業費の 内訳	千円										
	人	正規職員従事人数	人		1		1		1		1		1
	件	のべ業務時間	時間		20		20	20		10			
	費	人件費計(B)	千円	76		76		76		36		36 73	
	<b> -</b>	タルコスト(A)+(B)	千円		147		147		147		107		144

事務事業名 渡良瀬川流域森林林業活性化センター参画事業 担当部 産業文化スポーツ部 担当課 農山村振興課 担当係 森林整備係

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等 ①この事務事業は、いつ頃、どのような 時期は不明だが、林業・木材生産が低迷しているため、流域内の関係団体が森林・林業・林産業の きっかけで開始しましたか? 振興を図るために組織された。 ②事務事業を取り巻く環境(対象者や 国・県などの法令等、社会情勢など)は 地球温暖化、環境税導入等で森林の持つ公益的機能が大切な役割を果たしていることが知れてき て、森林整備の重要性が注目されている。 事務事業の開始時期や合併前と比べて どのように変化していますか? ③この事務事業に対して、関係者(市 民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか?

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	以中 以自 2 3 3 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

#### 2. 事務事業の事後評価【Check】

	①政策体系との整合性 この	事務事	業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?								
目	結びついている	理由• 改善案	団体の活動は、多様な森林の整備や森林の公益的機能の維持増進を図るという理由で公益上必要なものである。								
的	②公共関与の妥当性 なぜこ	の事務事	業を市が行わなければならないのですか? 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか?								
妥当性評	市が行わなければならない	理由· 改善案	公益上必要なので、参画している。								
価	③対象・意図の妥当性 事務	事業の現	見状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか?								
	妥当である	理由· 改善案	妥当である。								
	④事務事業の成果向上余地	事務事業	の成果は出ていますか? 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか?								
有効	成果向上余地がない	理由· 改善案	成果は十分出ている。								
性	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか? ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか?										
評価		類似事	·務事業名								
Щ	類似事務事業はない	理由· 改善案									
	*類似事務事業があれば、名称を記入	以苦杀									
効	⑥事業費・人件費の削減余均	也 事務事	事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか?								
率性評価	削減の余地はない	理由· 改善案	負担金の額は総会によって決めるため。								
公	⑦受益者負担の適正化余地	この事務	事業の受益者は誰ですか?事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか?								
平性評価	受益者負担を求める必要が ない	理由· 改善案	市が参画する事業であるため受益者負担は求められない。								
総	⑧本事業の休止・終了条件(	本事業に	はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)								
合	団体が解散した時。										
評価											
Ш											

(1)今後の事務事業の方向性	(2	)改革	・改善	こよる其	朝待効	カ果 (3)改革・改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
現状維持(従来通り実施)			止の場 は改革			
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。				コスト		7
(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)			削減	維持	増加	ī]
		向上				
	:	成 維果 持		0	×	
		低下		×	×	

н і ін		237		_	1. 1.		1 /2							201	4411 214	
事務	(重·	坐夕		/±	既走	. <del></del>	生 田	るす	を援事	· *		評	価区分(事前	評価・事後評価)	事後評	価(A·B表)
<b>平</b> 7力	) <del>  </del>	*1		ΚI	±/11.	小小木	狄少	とエン	く)友子	*未		担	=	産業文化スポーツ部	担当課	農山村振興課
	基	本目	票	1	魅力	ある産	産業で	賑わ	う活ナ	あるま	ちづくり	組	織 担当係	森林整備係	担当課長名	大川 登
政策	政	攻 策 2 地域資源を活かしたまちづくり					くり			新規事業	僕∙継続事業	継続事業				
体系	系 施 策 3 中山間地域の活性化				;				実施計画等	事業・一般事業	一般事業					
	基	本事:	標 1	林業	の活	生化						市単独事業	•国県補助事業	市直	单独事業	
	短約	宿コー	ド	4	信金	款	項	目			予算細事業名	事業	任意的事業	業·義務的事業	任意	意的事業
予算 科目		916			一般	6	2	1	/士田3寸	- <del>                                     </del>	興会支援事業	区	実	施方法		直営
I	,	910			川又	U	2	•	KT ± J 1	<b>11个未</b> 1次:	<b>兴云义饭</b> 争未	分	事	業分類	支	援事業
事業	¥	在 B	≠幺	品し	I SEI	事業 期間	4	<b>Ĕ度~</b>	年度	根拠法令	佐野市補助金等交付規則		リーディン	グプロジェクト	討	ぎ当なし
計画	#	+13	之形	木り	/近し	期間	4	-汉**	十戊	条例等			市長	市政公約		

- 1. 事務事業の現状把握【DO】
- (1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)							
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和3	年度実	績(令和3年	度に行った主	な活動内容	)	
	会員の林業経営等の合理化及びその経済的 社会的地位の向上及び地域林業の振興を図 る。	・チェーンソーカービングを開催・県南地区林業振興協会の研		参加した。				
		活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		団体の研修会等の活動数	回	3	3	1	1	2
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としている	<b>ミすか?</b> )						
	佐野市林業振興会 	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 ( <u>実績)</u>	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		会員数	人	42	39	39	38	38
	③意図(この事務事業によって、対象をどのよう	iな状態にしたいのですか?)						
的	会員の各種視察·研修会等への積極的な参加を促進する。	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		視察・研修会への参加人数	人	17	8	5	0	2
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)							
	後継者の育成が図られている。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		木材伐採面積	ha	445	150	195	287	301
	い処束要乗の推移 中記							

(2	)総	事業費の推	移·内																						
		財源内訳	単位	H29年度(実	績)	H30年度(実	績)	R1年度(実績	[)	R2年度(実績	Į)	R3年度(実績	Į)												
		国庫支出金	千円																						
		県支出金	千円																						
		地方債	千円																						
		その他	千円																						
		一般財源	千円	100			100		0		75		75												
	事	事業費計(A)	千円		100		100		0		75	75													
	事業費	事業費の 内訳 千円		項目	事業費	~	事業費	~-	事業費	~-	事業費	~-	事業費												
投	費			補助金	100	補助金	100	補助金	0	補助金	75	補助金	75												
入					<b></b>				 		<b></b>														
量			~ m		ļ						ļ														
			千円	千円	千円	十円	十円		<b></b>						ļ										
																						ļ			
					<b>∔</b>		<b></b>		<b></b>		<b></b>														
					<del> </del>		·				<b></b>														
	,	正規職員従事人数			1		1		1		1		1												
	件	のべ業務時間	時間		120		120		120		120		120												
	費	人件費計(B)	千円		458		459		458		436		436												
	h-:	タルコスト(A)+(B)	千円		558		559		458		511														

事務事業名 | 佐野市林業振興会支援事業 担当部 | 産業文化スポーツ部 担当課 | 農山村振興課 | 担当係 森林整備係

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

	(3)事務争未を取りを\現現変化・中氏の	/总兄寺
		平成17年7月5日 林業振興会の設立に伴い、事業を開始した。
	きっかけで開始しましたか?	
	②事務事業を取り巻く環境(対象者や	会員の高齢化の進展
	国・県などの法令等、社会情勢など)は	
	事務事業の開始時期や合併前と比べて	
	どのように変化していますか?	
	③この事務事業に対して、関係者(市	特になし
	民、議会、事務事業対象者)からどのよ	
	うな意見・要望がありますか?	
П		4

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 13 1 (Q 4) 11 (B 14) (1 - 1) 1 ( B	44 - 41 + 10 to 10
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

# 2. 事務事業の事後評価【Check】

	①政策体系との整合性 この	)事務事	業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?								
目	結びついている	理由· 改善案	地域林業の振興を図る団体で、林業経営の手法や林業の活性化について研修している。								
的	②公共関与の妥当性 なぜこ	の事務事	「業を市が行わなければならないのですか? 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか?								
妥当性評!	市が行わなければならない	理由· 改善案	地域林業の振興を図るために必要な団体への支援である。								
価	③対象・意図の妥当性 事務	事業の現	見状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか?								
	妥当である	理由· 改善案	林業後継者を育成することにより、振興会の活性化を図る。								
	④事務事業の成果向上余地	事務事業	の成果は出ていますか? 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか?								
有効	成果向上余地がない	理由• 改善案	十分成果が出ている。								
性	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか? ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか?										
評		類似事	ā務事業名								
価	類似事務事業はない	理由・									
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	改善案									
効	⑥事業費・人件費の削減余り	也 事務事	事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか?								
率性評価	削減の余地はない	理由• 改善案	補助金の見直し計画に基づき削減を実施済。								
公	⑦受益者負担の適正化余地	この事務	事業の受益者は誰ですか?事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか?								
平性評価	現在の受益者負担は適正 である	理由• 改善案	会費を徴収し、振興会を運営している。								
総	⑧本事業の休止・終了条件(	本事業に	まどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)								
合評価	佐野市林業振興会が自立し	て自主運	営が図られた場合や佐野市林業振興会が解散した場合。								

(1)今後の事務事業の方向性	(2	)改	車・改善	による	果 (3)改革・改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策				
現状維持(従来通り実施)	廃	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。							
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。				コスト					
(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)			削減	維持	増加				
		ſ	]						
	;	成果	ŧ	0	×				
		1	£ .	×	×				

P I III		_	ተነ ላተ	J	十戊									水件ボー 「	1202				
主教	事業名	#	右出	管理	車場	¥					評価	西区分(事前	評価・事後評価)	事後評	価(A•B表)				
争仍	争未有	111	173 M	/日石	サオ	₹					担	<b>→</b>	産業文化スポーツ部	担当課	農山村振興課				
	基本目標	1	魅力	ある唇	産業で	賑わ	う活力	」あるまな	ちづくり		組約	趙 担当係	森林整備係	担当課長名 大川 登					
政策	政 策	2	地域	資源を	を活か	いした	まちづ	くり				新規事業	業・継続事業	継続事業					
体系	施策	3	中山	間地均	或の流	舌性化	;					実施計画等	事業・一般事業	一般事業					
	基本事業	2 林業の活性化										市単独事業	•国県補助事業	市単独事業					
	短縮コード	ド 会計 詩			項	目		予算細事業名			事 業	任意的事業	業·義務的事業	任道	意的事業				
予算 科目	9924		一般	6	2		<b>+ + + +</b>	+ 竺 珊 車 🕆	₩-		区	実力	施方法	一部委託					
יין דו	9924		一般 0		一友		一版		一放 0		۷		市有林管理事業		分	事	業分類	施設等	等整備事業
事業計画	単年度組		THE L	事業	4	₽度~	年度	根拠法令		•		リーディン	グプロジェクト	彭	核当なし				
計画	平十戊	木"		期間		广汉	十戊	条例等				市長	市政公約						
									·-						_				

- 1. 事務事業の現状把握【DO】
- (1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

(1)	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)							
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		年度実	績(令和3年)	度に行った主	な活動内容	)	
	市の所有する山林の撫育等の管理 ・森林保険の契約更新 ・間伐業務、市有林巡視業務委託 ・森林組合賦課金 市有林面積 288.28ha 【個 別 面 積】	·森林保険料 3,175,598円 ·森林組合賦課金 183,300円 ·市有林巡視 110,000円						
	丸 岩 63.11ha 秋 山 20.89ha 穴 切 22.32ha 大久保 22.07ha 岩 松 0.55ha 小拍子 9.65ha	活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
	有	間伐面積(市有林)	ha	3.23	0	0	0	0
	熊 穴 19.72ha 要 谷 6.67ha	除伐面積(市有林)	ha	0	3.81	3.59	2.27	0
	丸 山 2.13ha         ②対象(この事務事業は誰・何を対象としている)	 						
		まりか?)						
	市有林	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 <u>(実績)</u>
		市有林面積	ha	288.28	288.28	288.28	288.28	288.28
目	③意図(この事務事業によって、対象をどのよう	うな状態にしたいのですか?)						
的	健全な森林の育成	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		間伐面積等/市有林面積	%	1.1	1.3	1.2	0.8	0.0
	M							
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)							
	健全で木材生産性の高い森林が創出される。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		林道の整備延長	m	63,195	63,195	63,195	63,195	63,195
	いか古来書の光板 中司							

	11126 1	
(2)総事業費の	排移•内訳	

具	財源内訳  庫支出金 県支出金 地方債 その他	千円	H29年度(実統	頁)	H30年度(実約	頁)	R1年度(実績	()	R2年度(実績	.)	R3年度(実績	Į)			
県	県支出金 地方債 その他	千円													
ţ	地方債 その他	千円													
	その他	千円	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •												
		千円													
	一般財源	千円		2,626		2,651		3,241		3,435		3,469			
事事	業費計(A)	千円		2,626		2,651		3,241		3,435		3,469			
事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費			
投費	車業弗の		損害保険料	2,336	損害保険料	2,360	損害保険料	3,058	損害保険料	3,142	損害保険料	3,176			
λ			管理委託料	107	管理委託料	108	森林組合賦課金	183	管理委託料	110	管理委託料	110			
量		業典の	業典の	主業典の	事業費の		森林組合賦課金	183	森林組合賦課金	183			森林組合賦課金	183	森林組合賦課金
_   尹	♥未負の   内訳	千円													
	P 3 (1) X														
人工規	規職員従事人数	人		1		1		1		1		1			
件の~	ベ業務時間	時間		40		40		40		40		40			
費人	.件費計(B)	千円		153		153		153		145	145				
トータルコ	ンスト(A)+(B)	千円		2,779		2,804		3,394		3,580		3,614			

事務事業名 市有林管理事業 担当部 産業文化スポーツ部 担当課 農山村振興課 担当係 森林整備係

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等 ①この事務事業は、いつ頃、どのような │合併前からあり、木材の価値が高かった頃は財源の一部として見込まれ、管理していたのではない きっかけで開始しましたか? かと考える。 ②事務事業を取り巻く環境(対象者や 国・県などの法令等、社会情勢など)は 地球温暖化防止対策や森林環境税など、森林を取り巻く環境は変化し続けてきており、より関心が 高くなっている。 事務事業の開始時期や合併前と比べて どのように変化していますか? ③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか?

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	以手以合の状態
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

### 2. 事務事業の事後評価【Check】

	①政策体系との整合性 この	)事務事	業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?					
目	結びついている	理由· 改善案	市有林の適正な管理を行っているので、政策体系に結びついている。					
的	②公共関与の妥当性 なぜこ	の事務事	業を市が行わなければならないのですか? 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか?					
妥当性評	市が行わなければならない	理由· 改善案	市の所有する山林であるため、管理するのは当然である。					
価	③対象・意図の妥当性 事務	事業の理	見状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか?					
	妥当である	理由· 改善案	事業内容は、市有林を適切に管理することであるため、対象と意図は合っている。					
	④事務事業の成果向上余地	事務事業	の成果は出ていますか? 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか?					
有効	成果向上余地がない	市有林を適切な状態に育成するという成果が十分出ている。 理由・ 改善案						
性	⑤類似事務事業との統合・連携の	可能性 類	- 国似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか? ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか?					
評		類似事	· 務事業名					
価	類似事務事業はない	理由・						
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	改善案						
効	⑥事業費・人件費の削減余均	也 事務事	- 事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか?					
率性評価	削減の余地はない	理由• 改善案	森林保険や賦課金の支払いは定額であり、巡視業務委託についても見積りで行っているため、事業費削減の余地はない。					
公	⑦受益者負担の適正化余地	この事務	事業の受益者は誰ですか?事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか?					
平性評価	受益者負担を求める必要がない	理由· 改善案	市が所有する山林の維持管理であることから、受益者は佐野市となる。					
総	⑧本事業の休止・終了条件(	本事業に	はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)					
合評価	管理する市有林がなくなった	場合						

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果						」果 (3)改革・改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。					
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	ſ				コスト		1
(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)				削減	維持	増加	7
			向 上				
		成果	維持		0	×	
			低下		×	×	

н і н	M 7 J 27	· – <i>i</i>	_	la J.H		十尺									-X.	ネド・ハー 「	1202	
主教	事業	Þ	#	一、古幼	持管	5 III 3	- <del>**</del>					評	価区を	分(事前	評価・事後評価)	事後評	価(A•B表)	
<del>1</del> 17.	] 尹木	П	14	、但和	F14 E	生子	未					担	_	田当部	産業文化スポーツ部	担当課	農山村振興課	
	基本目	目標	1	魅力	ある産	主業で	賑わ	う活力	」あるまな	ちづくり		組	織担	坦当係	森林整備係	担当課長名	大川 登	
政策	政	策	2	地域	資源を	を活か	いした	まちづ	うくり				新規事業·継続事業			継続事業		
体系	系 施		3	中山	間地均	或の流	舌性化	í				実施計画事業・一般事業			一般事業			
	基本專	事業	2	2 林業の活性化									市単独事業・国県補助事業			市単独事業		
7 M	短縮コ	Ī		会計	款	項	田		=	予算細事業名		事業	任意	意的事業	美•義務的事業	任意	意的事業	
予算 科目	989	11		一般	6	2	1	批冶纸	<b>推持管理</b>	車 娄		区八	実施方法			直営		
1	903	, ,		川又	U	4	'	作地	性付 台 生 =	<b>芦木</b>		分		事	業分類	施設維持管	理事業(市主体)	
事業計画	畄任	· 庄 :	(品)	1351	事業 期間	4	F 使~	年度	根拠 法令				リー	ーディン	グプロジェクト	討	対なし	
計画	74	<b>半</b> 牛皮粉		<mark>単年度繰り返し</mark>			市長市政公約											
			_															

- 1. 事務事業の現状把握【DO】
- (1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

	(1) 事務事業の手段 "日的" 福来" 合拍信							
C	①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)							
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	1. 11.		10-4 1 1 1 1 1 1 1	度に行った主	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
	市の管理する林道26路線の維持管理を行う (草刈、倒木の片付け、側溝清掃、落石除去、 舗装等の維持補修、近沢トンネル電気料支 払、パトロール等)。	林道の維持管理 (草刈り、土社・除草作業(林道作原沢入線・塩化カルシウムの設置(林道・道路賠償責任保険の加入・林道の土砂撤去等(作原沢・道路修繕(林道作原沢入線・	外6路約 首作原 入線外	<sup>泉)</sup> 尺入線外6路		'ネル電気料)		
		活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
	Į,	市管理林道の路線数 	路線	26	26	26	26	26
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としていま	すか?)						
	市の管理する林道	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
	3	延長	m	63,195	63,195	63,195	63,195	63,195
E	   ③意図(この事務事業によって、対象をどのよう?	な状態にしたいのですか?)						
Á	村 利用者に安全に通行してもらう	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
	1	修繕件数 	件	4	2	4	8	5
	-							
(4								
	林業を営むための基盤が整備されている	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		林道の整備延長 	m	63,195	63,195	63,195	63,195	63,195
(	(2)総事業費の推移・内訳							

(の) 似市 ## 曲	<b>Λ#₩</b> ₩ ₩ =□
(2)総事業費	(/)排移•闪訳

(2	/ 形心	事業費の推											
		財源内訳	単位	H29年度(実統	責)	H30年度(実約	漬)	R1年度(実績	i)	R2年度(実績	į)	R3年度(実	績)
		国庫支出金	千円										
		県支出金	千円										
		地方債	千円		•••••								
		その他	千円										
		一般財源	千円		9,936		9,713	1	9,378	2	8,034		14,523
	<u>+</u>	事業費計(A)	千円		9,936		9,713	1	9,378	2	8,034		14,523
	事業費			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
<b>+</b> Љ	書			消耗品費	163	消耗品費	237	消耗品費	222	消耗品費	323	消耗品費	202
又	~			燃料費	70	燃料費	79	燃料費	28	燃料費	0	燃料費	0
島		市業書の		光熱水費	192	光熱水費	171	光熱水費	269	光熱水費	153	光熱水費	105
_		事業費の 内訳	千円	修繕料	1,426	修繕料	994	修繕料	1,191	修繕料	2,728	修繕料	1,650
		りがいく		道路保険料	14	道路保険料	14	道路保険料	14	道路保険料	14	道路保険料	14
				業務委託料	6,725	業務委託料	8,202	業務委託料		業務委託料	21,400	業務委託料	7,053
				工事請負費	1,269	諸資材費	15	諸資材費	37	工事請負費	3,417	工事請負費	5,488
				諸資材費	77			備品購入費	61	諸資材費	0	諸資材費	11
	人	正規職員従事人数	人		1		1		1		1		1
	件	のべ業務時間	時間		40		40		80		100		100
	費	人件費計(B)	千円		153		153		305		364		364
	<b></b> !	タルコスト(A)+(B)	千円	1	0,089		9,866	1	9,683	2	8,398		14,887

事務事業名 林道維持管理事業 担当部 産業文化スポーツ部 担当課 農山村振興課 担当係 森林整備係

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等 ①この事務事業は、いつ頃、どのような 本道路肩崩落の修繕や土砂撤去等をより迅速に行うことで通行者の安全を確保するため、平成21 きっかけで開始しましたか? 年度から開始した。 ②事務事業を取り巻く環境(対象者や 国・県などの法令等、社会情勢など)は 道路管理者の責任問題が取り上げられるようになった。 事務事業の開始時期や合併前と比べて どのように変化していますか? ③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか? 林道の利用者から、崩れた路肩や傷んだ路面への修繕依頼や、通行止めをしている林道の通行止 め解除の要求がある。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	以中 以日 0 状 恒
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

### 2. 事務事業の事後評価【Check】

	①政策体系との整合性 この		業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?						
	· 以来评示CO是自任 CO	7 7 7 7 7	林業の基盤である林道を改修することは政策体系に結びつく。						
目	結びついている	理由· 改善案	<b>が未の参強しめるが担さ以修することは以来体示にむいうへ。</b>						
的	②公共関与の妥当性 なぜこ	の事務事	業を市が行わなければならないのですか? 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか?						
妥当性評	市が行わなければならない	理由· 改善案	林道は山村の生活環境の向上の面でも重要な役割を果たしており公共性が高いため、市が管理しなければならない。						
価	③対象・意図の妥当性 事務	事業の現	見状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか?						
	妥当である	理由· 改善案	近年の林業を取り巻く厳しい状況の中、森林の持つ多面的機能が発揮できるよう、その生産基盤の整備が必要である。						
	④事務事業の成果向上余地	事務事業	の成果は出ていますか? 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか?						
有効	成果向上余地がない	理由• 改善案	修繕が必要な場所について実施し、通行者の安全を確保している。						
性	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか? ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか?								
評		類似事	務事業名						
価	類似事務事業はない	理由・							
	*類似事務事業があれば、名称を記入	改善案							
効	⑥事業費・人件費の削減余均	也 事務事	事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか?						
率性評価	削減の余地はない	理由· 改善案	最小の経費で最大の効果が得られるよう努力している。						
公	⑦受益者負担の適正化余地	この事務	事業の受益者は誰ですか?事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか?						
平性評価	受益者負担を求める必要がない	理由· 改善案	市が管理する林道の維持管理を行うものであり、負担を求めるものではない。						
総	⑧本事業の休止・終了条件(	本事業に	はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)						
合	市管理林道が廃止、又は移行	管となった	ととき。						
評									
価									

(1)今後の事務事業の方向性	(2	)改革	・改善	こよる其	朝待効	カ果 (3)改革・改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策		
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。						
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。				コスト		7		
(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)			削減	維持	増加	ī]		
		向上						
	:	成 維果 持		0	×			
		低下		×	×			

作成日 令和 4 年 6 月 30 日

評価対象年度 令和 3 年度 政策体系コード 1232 評価区分(事前評価・事後評価) 事後評価(A·B表) 事務事業名 林道施設長寿命化事業 担当 担当部 産業文化部 担当課 農山村振興課 基本目標 1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり 組織 担当係 森林整備係 担当課長名 大川 登 策 2 地域資源を活かしたまちづくり 政 新規事業·継続事業 継続事業 政策 体系 施 策 3 中山間地域の活性化 実施計画事業 - 一般事業 一般事業 基本事業 2 林業の活性化 市単独事業・国県補助事業 国県補助事業 短縮コード 会計 款 項 目 予算細事業名 任意的事業,義務的事業 任意的事業 区 直営 実施方法 科目 10325 一般 6 2 2 林道施設長寿命化事業 分 事業分類 施設維持管理事業(市主体) 根拠 法令 林道管理規程 リーディングプロジェクト 該当なし 事業 計画 事業 期間 単年度繰り返し 令和2年度~ 年度 市長市政公約 条例等

- 1. 事務事業の現状把握【DO】
- (1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

_								
(	①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)							
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和3年	丰度実	績(令和3年	度に行った主	こな活動内容	!)	
	今後老朽化する林道施設(橋梁・トンネル)の 増大に対応するため、令和元年度に策定する 林道施設長寿命化計画を基に、従来の事後 的な修繕及び架け替えから予防的な修繕及び 計画的な架け替えへと円滑な政策転換を図る と共に、林道施設(橋梁・トンネル)の長寿命化 並びに修繕及び架け替えに掛かる費用の縮	林道作原沢入線 ばらら橋補修 補修工事を行った。 林道小戸線 鍋越橋外補修工 補修工事に伴う実施設計を行 補修工事は、R4へ繰越した。	事					
	減を図りつつ、利用者の安全性・信頼性を確	活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
	保する。 林道施設:橋梁・トンネル ・橋長4m以上の主要な橋梁数:39橋	長寿命化修繕工事実施林道 施設(橋梁・トンネル)	箇所	( <b>大</b> 順/	(天順)	( <b>大</b> 順/	0	1
	・トンネル 2箇所・5年に1回の近接目視による点検							
	・3年に1回の延接日代による点快							
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としている	     ますか?)						
	林道施設	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		橋長4m以上の橋梁	橋				39	39
		トンネル	箇所				2	2
	目 ③意図(この事務事業によって、対象をどのよう	5な状態にしたいのですか?)						
ŀ	的 今後老朽化する林道施設(橋梁・トンネル)の 増大に対応するため、長寿命化計画をもとに、	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
	従来の事後的な修繕及び架け替えから予防 的な修繕及び計画的な架け替えへと円滑な政	実施林道施設・林道施設(橋 梁・トンネル)	%	\\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	(304%)	( <b>)</b> (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	0	2.4
	策転換を図る。							
(	_  ④結果(どのような結果に結びつけますか?)							
	林道施設(橋梁・トンネル)の安全性、信頼性 が確保される。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		林道の整備延長	m				63,195	63,195
	(2)総事業費の推移・内訳							

(2	ノ税	争:	表貨	<b>€</b> U.	ノ推	移 •	凶	汃	
		8-	- 汽玉	Th:		出	凸		

\ Z	. / 小心	争耒負の推	<i>ተ</i> ዎ ጉነ										
		財源内訳	単位	H29年度(実	績)	H30年度(実	:績)	R1年度(実統	責)	R2年度(実統	績)	R3年度(3	<b>実績</b> )
		国庫支出金	千円										
		県支出金	千円								2,653		10,709
		地方債	千円								2,100		8,700
		その他	千円										
		一般財源	千円								71		61
	車	事業費計(A)	千円		0	0		0			4,824		19,470
	事業費	事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投										委託料	4,824	委託料	8,965
汉												工事請負費	10,505
量													
_			千円										
					1								
	/\	正規職員従事人数	人								1	1	
		のべ業務時間	時間							150			
	費	人件費計(B)	千円		0	0		0		546		545	
	トータルコスト(A)+(B) 千円 0			0		5,370	20,015						

事務事業名 林道施設長寿命化事業 担当部 産業文化部 担当課 農山村振興課 担当係 森林整備係

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等 ①この事務事業は、いつ頃、どのような インフラグ インフラの老朽化は全国的な問題となっており、これまでの事後保全型管理から予防保全型管理へと転換し、インフラの長寿命化を図っており、林野庁においても、「林道施設長寿命化対策マニュアル」を策定した。本市においても急速に高齢化する林道施設が増大することが想定され、長寿命化計画の策定が必要となったため、平成30年に点検調査を実 きっかけで開始しましたか? 令和元年に計画の策定をした ②事務事業を取り巻く環境(対象者や 平成24年12月に発生した笹子トンネルでの天井板の落下事故により社会インフラの維持管理の 国・県などの法令等、社会情勢など)は 重要性が全国的な問題となり、道路法において定期的な点検診断が義務化された。また総務省か 事務事業の開始時期や合併前と比べて ら地方公共団体へ公共施設等総合管理計画の策定要請があった。今後は、定期的な施設の点検 どのように変化していますか? 診断が必須となり、修繕等の維持管理事業が主体となってくると考えられる。 公共施設の長寿命化について議会からの一般質問が最近されるようになり、関心の高さが伺える。 ③この事務事業に対して、関係者(市 民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか?

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	以中 以日 0 状 恒
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

### 2. 事務事業の事後評価【Check】

	①政策体系との整合性 この	)事務事	業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?								
目	結びついている	理由· 改善案	林道施設(橋梁・トンネル)の老朽化が進行する中、修繕計画を策定し、修繕等を実施することによって、林道の安全性、信頼性を確保できる。								
的	②公共関与の妥当性 なぜこ	の事務事	業を市が行わなければならないのですか? 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか?								
妥当性評	市が行わなければならない	理由· 改善案	林道管理者として、市が行わなければならない。								
価	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか?										
	妥当である	理由· 改善案	林道施設長寿命化対策マニュアルに基づき橋長が4m以上の橋梁及びトンネルを対象とし、修繕等を行う。								
	④事務事業の成果向上余地	事務事業	の成果は出ていますか? 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか?								
有効	成果向上余地がない 理由・ 改善案 は要素 では、安全性が確保されるという成果が出ている。										
性	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか? ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか?										
評		類似事	務事業名								
価	類似事務事業はない	理由· 改善案									
	*類似事務事業があれば、名称を記入	以苦柔									
効	⑥事業費・人件費の削減余均	也 事務事	事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか?								
率性評価	削減の余地はない	理由· 改善案	林道施設長寿命化計画に基づき予防的な修繕等を実施することで、林道施設の長寿命化を図るも のであり、削減の余地はない。								
公	⑦受益者負担の適正化余地	この事務	事業の受益者は誰ですか?事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか?								
平性評価	受益者負担を求める必要が ない	理由· 改善案	市が管理する林道の維持管理を行うものであり、特定の受益者はいない。								
総	⑧本事業の休止・終了条件(	本事業に	はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)								
合評価	林道管理者として、林道施設	の安全性	生、信頼性を確保することは重要な責務であり、休止、終了することはできない。								

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果 (3)改革・改善を実現するうえで課題(壁)とその解決策							
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。						
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	Ī			コスト				
(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)			削減	維持	増加			
		向上						
	j	成 維 果 持		0	×			
		低下		×	×			

		_																			
主教	事業名	森林路網整備事業							評值	価区分(事前	評価・事後評価)	事後評	価(A·B表)								
<del>11</del> 13	1 争未有	林	(小)吐	7779 31	刑事	**				担	_	産業文化スポーツ部	担当課	農山村振興課							
	基本目標	1	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり								織 担当係	森林整備係	担当課長名	大川 登							
政策	政 策	2	地域	資源を	を活か	いした	まちづ	くり			新規事業	業∙継続事業	継続事業								
体系	施策	3	中山	間地均	或の流	舌性化	<b>.</b>				実施計画等	事業•一般事業	一般事業								
	基本事業	事業 2 林業の活性化								事	市単独事業	•国県補助事業	国県補助事業								
	短縮コード	111	会計	款	項	目		予算細事業名			任意的事業	業·義務的事業	任意的事業								
予算 科目	9999	000		6	6	6	6	6	6	9	6	2	2	赤牡果	女纲敕准:	車 ❤	区	実施方法		直営	
17 11	9999		一般	U	2		森林路網整備		尹禾	分	事業分類		施設維持管理事業(市主								
事業計画	当年由		교	事業	-	F 使 ~.	年度	根拠法令	森林路網整備事業実施要		リーディン	グプロジェクト	討	は当なし							
計画	半十及	<mark>度繰り返し</mark>		条例等	領		市長	市政公約													

- 1. 事務事業の現状把握【DO】
- (1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)							
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		13年度宝	結(今和3年	度に行った主	か活動内容	)	
	市の管理する林道の維持保全に努め、適切な森林整備や効率的な林業経営を推進するため、改良事業を県単補助で実施する。	林道作原沢入線 法面改良 工事延長 L = 12.4m				-'6/11 <del>3</del> )	,	
		活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		市管理林道の路線数	路線	26	26	26	26	26
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としている	<b>ますか?</b> )						
	市の管理する林道	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		管理林道の延長	m	63,195	63,195	63,195	63,195	63,195
目	③意図(この事務事業によって、対象をどのよう	 	)					
的	林道利用者の通行の安全確保を図る。	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		苦情や補修の要望件数	件	0	0	5	2	3
(1)								
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)				1100/5	D4 5 5	D0/5/5	D0/E
	林業を営むための基盤が整備される。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		林道の整備延長 	m	63,195	63,195	63,195	63,195	63,195
	)終事業費の推移・内訳							

(の) 似市 ## 曲	<b>Λ#₩</b> ₩ ₩ =□
(2)総事業費	(/)排移•闪訳

(2	)総	事業費の推											
		財源内訳	単位	H29年度(実績	<b>[</b> )	H30年度(実	績)	R1年度(実績	漬)	R2年度(実	績)	R3年度(3	<b>実績</b> )
		国庫支出金	千円										
		県支出金	千円		2,044	2,249		2,038		924		2,488	
		地方債	千円						4,700		2,100		5,800
		その他	千円										
		一般財源	千円		4,771	5,246		55			56		1,270
	<b>=</b>	事業費計(A)	千円	6,815		7,495		6,793			3,080	,	
	事業費			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
+л.				工事請負費	6,815	工事請負費	7,495	工事請負費	6,793	工事請負費	3,080	工事請負費	9,558
投入													
品		事業費の 内訳											
=			千円										
	人	正規職員従事人数	人		1		1		1	1		1	
	件	のべ業務時間	時間		50	50		50		100		100	
	費	人件費計(B)	千円		191	191		191		364		364	
	h-:	トータルコスト(A)+(B) 千円 7,006 7,686					6,984		3,444		9,922		

事務事業名 森林路網整備事業 担当部 産業文化スポーツ部 担当課 農山村振興課 担当係 森林整備係

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等 ①この事務事業は、いつ頃、どのような 開始年度は不明ですが、本事業は効率的な林業経営や森林の適正な管理に不可欠であり、森林空 きっかけで開始しましたか? 間の総合的な利用、山村の生活環境や地域振興にも重要な役割を果たすため、開始したものと思 われます。 ②事務事業を取り巻く環境(対象者や 国・県などの法令等、社会情勢など)は 長引く材価の低迷により、森林所有者の維持管理もままならず、荒廃した森林が多くなっている。 事務事業の開始時期や合併前と比べて どのように変化していますか? ③この事務事業に対して、関係者(市 民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか?

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	以手以合の状態
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

### 2. 事務事業の事後評価【Check】

	①政策体系との整合性 この	)事務事	業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?							
目	結びついている	理由· 改善案	林道は木材の搬出等に不可欠であり、林業振興や山間地の活性化を推進する上で林道整備を支援することは政策体系に結びついている。							
的	②公共関与の妥当性 なぜこ	の事務事	業を市が行わなければならないのですか? 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか?							
妥当性評	市が行わなければならない	理由· 改善案	市の管理する林道であるため、市が行わなければならない。							
価	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか?									
	妥当である	理由· 改善案	林道利用者の安全確保を目的とし、市管理林道の改良を行う事業のため、対象と意図は合っている。							
	④事務事業の成果向上余地	事務事業	の成果は出ていますか? 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか?							
有効	成果向上余地がない	理由· 改善案	森林路網整備事業実施要領に基づき進めており、成果向上余地はない。							
性	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか? ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか?									
評価		類似事	務事業名							
ТШ	類似事務事業はない	理由・								
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	改善案								
効	⑥事業費・人件費の削減余均	也 事務事	事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか?							
率性評価	削減の余地はない	理由· 改善案	県の審査を受けての補助事業であるため、事業費の削減はできない。							
公	⑦受益者負担の適正化余地	この事務	事業の受益者は誰ですか?事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか?							
平性評価	受益者負担を求める必要がない	理由· 改善案	市管理林道は、一般車両も通行する公益性の高いものであるため、受益者の特定や限定ができない。							
総	⑧本事業の休止・終了条件(	本事業に	などんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)							
合評価	恒久的に林道利用者の安全	が保たれ	Lる状況になった場合、林道の廃止、管理移管された時。							
Ш										

(1)今後の事務事業の方向性	(2	)改革	-改善	による	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策		
現状維持(従来通り実施)				合は、言 さ改善で			
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。				コスト			
(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)			削減	維持	増加		
		向上					
	:	成 維果 持		0	×		
		低下		×	×		

作成日 令和 4 年 6 月 30 日 政策体系コード 1232

HIIP			_	1- 1-		十汉									>K11->K		
主教	事業名		i 🗏	学士	道事	· *					評	価区分(事	前評価•事後記	平価)	事後評	<sup>[</sup> 価(A・B表)	
争狄	争未有		汞	西州	N胆手	未						当 担当	産業文化スポ	ーツ部	担当課	農山村振興課	
基本目標 1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり								組	織 担当	系 森林整備	係	担当課長名	大川 登				
政策	政策	티	2	地域	資源で	を活か	いした	まちづ	くり			新規事業・継続事業			継続事業		
体系	施策	Į.	3	中山間地域の活性化								実施計画事業·一般事業			一般事業		
	基本事業	業 2 林業の活性化										事 市単独事業・国県補助		事業	市	単独事業	
7 M	短縮コー	コード 会計			款	項	目		:	予算細事業名	業	任意的	任意的事業 · 義務的事業			<b>務的事業</b>	
予算 科目	10006			点几	6	2	2	図 実施方法				直営					
1	10006   一般   6   2   2   県営林道事業					分		事業分類		施設維持管理事業(市以外が主体							
事業計画	半年由	F幺	品し	14:1 1	事業 期間	RZ≨⊓62	2年度~	中中		県営林道事業実施要領		リーディングプロジェクト			討	核当なし	
計画	平十月	単年度網	木り	/ <u>)</u>	期間	<b>Р</b> Д <b>Т</b> Ц 0 2	一十戊	年度		県営林道分担金条例		市	長市政公約	·			
										·							

- 1. 事務事業の現状把握【DO】
- (1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和3:	年度実	績(令和3年	度に行った主	な活動内容	)					
	行われる場合、事業費の10%~50%を所在市町が負担する。 ○県管理林道・長石線		琴業量 W= 4.0m L=167.6m 事業費 5,497,800円 負担割合 県 50.70% 市 49.30%									
	・牛の沢出原線 ・大荷場木浦沢線 ・大荷場作原線	活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)				
	「人何场TF原稼	県管理林道数	路線	3	3	4	4	4				
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としている	r+4.0)										
		<b>にすか?</b> )		1100 F #	1100 F #	D4 5 5	D0/F/#	50 F F				
	森林基幹林道及び基幹林道前日光線	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 ( <u>実績</u> )	R2年度 (実績)	R3年度 <u>(実績)</u>				
		改修等実施箇所	箇所	1	1	1	1	1				
	◎尭回/=の末改束世による 場合とじのし											
	③意図(この事務事業によって、対象をどのよう	な状態にしたいのですか?)		1100 F F	1100Æ	D4 5 5	50 F #	50 to the				
נים	支障なく通行できるようにする。	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)				
		改修率(改修箇所/要整備箇 所)	%	100	100	100	100	100				
0												
<b>(4</b> )	結果(どのような結果に結びつけますか?)											
	林業を営むための基盤が整備されている。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)				
		林道整備延長	m	63,195	63,195	63,195	63,195	63,195				
(	の) 松東業典の推移・内部											

_(<	/ 形心	事業費の推											
		財源内訳	単位	H29年度(実績	1	H30年度(実統	漬)	R1年度(実績	()	R2年度(実績	10000000000000000000000000000000000000	R3年度(実	!績)
		国庫支出金	千円										
		県支出金	千円										
		地方債	千円			***************************************			2,700				
		その他	千円			***************************************							
		一般財源	千円		2,848		2,870		93		2,946		2,710
	重	事業費計(A)	千円		2,848		2,870		2,793		2,946		2,710
	事業費			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
<b>+</b> Љ	書	事業費の 内訳		負担金	2,848	負担金	2,870	負担金	2,793	負担金	2,946	負担金	2,710
投入	只												
量													
_			千円										
		7/01/4											
									<b> </b>				
	人	正規職員従事人数	人		1		1		1		1		1
	件	のべ業務時間	時間		36	36			36		36	6 36	
	費	人件費計(B)	千円		137		138		137		131		131
	<u> </u>	タルコスト(A)+(B)	千円		2,985		3,008		2,930		3,077		2,841

事務事業名 県営林道事業 担当部 産業文化スポーツ部 担当課 農山村振興課 担当係 森林整備係

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等 ①この事務事業は、いつ頃、どのような | 昭和57年度で基幹林道前日光線は全線開通したが、昭和52年に栃木県条例として制定された。 きっかけで開始しましたか? ②事務事業を取り巻く環境(対象者や 県の管理する前日光基幹林道は、各市町1~2路線であったが、合併により佐野市は4路線となっ 国・県などの法令等、社会情勢など)は た。作原沢入線について、平成26年度の佐野市側完成(群馬県みどり市側まで全線開通したのは 平成29年度)に伴い、平成27年度より市に移管され3路線となった。その後、令和元年度に大荷場作 事務事業の開始時期や合併前と比べて どのように変化していますか? 原線が開通したことにより、現在では4路線が県管理林道となっている。 工事等で通行止めとしていると「不便なので早く復旧してほしい」との声を聞いた。 ③この事務事業に対して、関係者(市 民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか?

#### (4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

### 2. 事務事業の事後評価【Check】

	①政策体系との整合性 この	)事務事	業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?										
目	結びついている	理由· 改善案	林業の基盤である林道を改修することは政策体系に結びつく。										
的	②公共関与の妥当性 なぜこ	の事務事	業を市が行わなければならないのですか? 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか?										
妥当性評	市が行わなければならない	理由· 改善案	対象路線の所在市町が負担すると定められているため、市が行わなければならない。										
価	③対象・意図の妥当性 事務	事業の現	見状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか?										
	妥当である	理由· 改善案	県営林道の支障のない通行となっているため妥当である。										
	④事務事業の成果向上余地	事務事業	の成果は出ていますか? 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか?										
有効	成果向上余地がない	県営事業であるため進め方の見直しはできないが、成果は十分に出ている。   理由・   改善案											
性	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか? ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか?												
評		類似事	務事業名										
価	類似事務事業はない	理由・改善案											
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	以苦柔											
効	⑥事業費・人件費の削減余均	也 事務事	事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか?										
率性評価	削減の余地はない	理由· 改善案	状況を踏まえ改修箇所を選定しており、県の入札等により事業費を決定している。そのため、事業 費を削減することはできない。										
公	⑦受益者負担の適正化余地	この事務	事業の受益者は誰ですか?事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか?										
平性評価	受益者負担を求める必要がない	理由· 改善案	対象路線は峰越え林道であり、公益性が高く、受益者の特定や限定ができない。										
総	⑧本事業の休止・終了条件(	本事業に	はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)										
合評価	栃木県営林道事業分担金条	:例による	義務的な事業費負担であるので、条例の改正等がなされた場合。										

(1)	)今後の事務事業の方向性	(2)	改革	•改善/	こよる其	期待効果	<ul><li>(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき</li><li>課題(壁)とその解決策</li></ul>
現状維持(従来通り実施)			止の場 は改革				
*評価結果に基づいた	:改革改善案を記入します。				コスト		
(複数ある場合は、①②・・	・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)			削減	維持	増加	
			向上				
		成 果	維持		0	×	
			低下		×	×	

H 1 10	四/7]	_	In J.H		十尺								水 件 パー・	1202	
主系	8事業名	厶	. Il <del>o</del> 24	林事	· **					評	価区分(事前	評価・事後評価)	事後評	価(A·B表)	
争的	争未有	Ŋ	水ル	上かり	未					担		産業文化スポーツ部	担当課	農山村振興課	
	基本目標	1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり								組	織 担当係	森林整備係	担当課長名	大川 登	
政策	政 策	2 地域資源を活かしたまちづくり									新規事業	<b>∊</b> 継続事業	継続事業		
体系	施 策 3 中山間地域の活性化									実施計画等	<b>₣業・一般事業</b>	一般事業			
	基本事業	2	林業の活性化							事	市単独事業	•国県補助事業	市	单独事業	
Mr	短縮コード	ź	会計	款	項	目		:	予算細事業名	業	任意的事業	<b>Ě·</b> 義務的事業	任意的事業		
予算 科目	10162		<u>d</u> n_	6	2	2	公山公	- # 車 *		区八	実力	施方法	一部委託		
П	10162   一般			分	事	業分類	施設維持管理	事業(市以外が主体)							
事業	単年度組	品し	1351	事業 期間	RZ €⊓49 €	∓度~令	fn10年度	根拠 法令	森林開発公団法		リーディン	グプロジェクト	討	対当なし	
計画	平十尺	沐り	ル区し	期間	PD1042-	+/2 - 11	山口千皮	条例等	分収造林特別措置法		市長河	市政公約			

- 1. 事務事業の現状把握【DO】
- (1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

(	1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標											
1	)手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	1. 11.	年度実	績(令和3年	度に行った主	な活動内容	)					
	市有林を、森林保護を目的として、森林整備センターの年次計画に従い造林事業を行う。 契約地 契約面積 契 約 契約期間 大 仏 10.88ha 昭44 80年 高戸口① 12.47ha 昭42 80年		而有杯の撫育 事業地:市有林曲ヶ手大窪(佐野市飛駒町) 事業量:生物害防除5.23ha、剥皮防護資材整備4.39ha									
	高戸口② 23.03ha 平 7 70年 高 原 14.33ha 平 1 50年	活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)				
	小拍子 5.0ha 昭59 60年 秋 山 20.27ha 昭34 70年 計 85.98ha	分収契約面積	ha	85.98	85.98	85.98	85.98	85.98				
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としている	ますか?)										
	分収契約している市有林	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)				
		造林事業実施面積	ha	3.23	3.81	3.59	2.27	9.62				
	③意図(この事務事業によって、対象をどのよう	た中能にしたいのですか?)										
	回息因(この事務事業によりて、対象をとめる)   健全な森林の育成を図る。			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度				
	歴史な林小の月灰と凶る。	成果指標	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)				
		造林事業実施面積/分収契 約面積	%	3.76	4.43	4.18	2.64	11.19				
4	    結果(どのような結果に結びつけますか?)											
	健全で木材生産性の高い森林が創出されている。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)				
		木材伐採面積	ha	444.7	149.5	195	287	301				
(	2)総事業費の推移・内訳											

(4) 纵击 # 曲	<b>Λ#₩₩ 由=</b> □
(2)総事業費	(/)排移•闪訳

		財源内訳	単位	H29年度(実統	責)	H30年度(実約	漬)	R1年度(3	実績)	R2年度(実	.績)	R3年度(3	<b></b> 長績)
		国庫支出金	千円										
		県支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他	千円		567		988		990		924		
		一般財源	千円		13		5		9		9		9
	車	事業費計(A)	千円		580		993		999		933		944
	事業費	事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投				業務委託料	567	業務委託料	988	業務委託料	990	業務委託料	924	業務委託料	935
入				負担金	13	負担金	5	負担金	9	負担金	9	負担金	9
量							<u> </u>						
			千円										
							ļ						
							ļ						
							ļ						
	人	正規職員従事人数	人		1		1		1		1		1
	件	のべ業務時間					80		80		80		80
	費	人件費計(B) 千円 305 305		306		305		291	1 291				
	h-2	タルコスト(A)+(B)	千円		885		1,299		1,304		1,224		1,235

事務事業名 分収造林事業 担当部 産業文化スポーツ部 担当課 農山村振興課 担当係 森林整備係

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

(3) 事務事業を取り合い環境変化・中氏の	7总允守
	市有林を有効活用するため、昭和42年より実施している。
きっかけで開始しましたか?	
②事務事業を取り巻く環境(対象者や	契約時よりも木材価格が低迷している。森林の持つ多面的機能への期待が高まっている。
国・県などの法令等、社会情勢など)は	
事務事業の開始時期や合併前と比べて	
どのように変化していますか?	
③この事務事業に対して、関係者(市	
民、議会、事務事業対象者)からどのよ	
うな意見・要望がありますか?	

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

# 2. 事務事業の事後評価【Check】

	①政策体系との整合性 この	)事務事	業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?										
目	結びついている	理由· 改善案	市有林を撫育管理することで、森林整備の促進につながっている。										
的	②公共関与の妥当性 なぜこ	の事務事	業を市が行わなければならないのですか? 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか?										
妥当性評!	市が行わなければならない	理由· 改善案	市の所有する山林であるため、市が管理しなければならない。										
価	③対象・意図の妥当性 事務	事業の現	見状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか?										
	妥当である	理由· 改善案	事業内容は、市有林を契約により撫育することであるため、対象と意図は合っている。										
	④事務事業の成果向上余地	事務事業	の成果は出ていますか? 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか?										
有効	成果向上余地がない	理由· 改善案	森林整備センターの森林施業計画によるものであり、事業は着実に進められ、成果が出ている。										
性	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか? ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか?												
評		類似事	務事業名										
価	類似事務事業はない	理由· 改善案											
	*類似事務事業があれば、名称を記入	以音采											
効	⑥事業費・人件費の削減余り	也 事務事	事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか?										
率性評価	削減の余地はない	理由· 改善案	撫育に対する費用は森林整備センターが負担しているため、削減の余地はない。										
公	⑦受益者負担の適正化余地	この事務	事業の受益者は誰ですか?事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか?										
平性評価	受益者負担を求める必要がない	理由· 改善案	市が所有する山林の維持管理であることから、受益者は佐野市となる。										
総	⑧本事業の休止・終了条件(	本事業に	などんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)										
合評価	分収契約期間が満了し、契約	り更新が	なされない場合。										

(1)今後の事務事業の方向性	(2	)改革	-改善	による	朝待効	果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
現状維持(従来通り実施)				合は、言 さ改善で			
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。				コスト			
(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)			削減	維持	増加		
		向上					
	:	成 維果 持		0	×		
		低下		×	×		

作成日 令和 4 年 6 月 30 日 政策体系⊐一ド 1232

H 1 H		_	ተን የሀ	J	十戊							<b>—</b>	水件ボー 「	1202	
主教	事業名	ŦV.	<u> </u>	虫防	冷車	*				評	価区分(事前	評価・事後評価)	事後評	価(A•B表)	
争仍	1 争未有	74	(\(\bar{\chi}\)	エリリ	亦尹	禾				担	_	産業文化スポーツ部	担当課	農山村振興課	
	基本目標	1	魅力	あるを	産業で	賑わ	う活力	」あるます	ちづくり	組	織 担当係	森林整備係	担当課長名	大川 登	
政策											新規事業	<b>∊</b> 継続事業	継続事業		
体系	施策	3	中山	間地均	或の流	舌性化	í				実施計画等	<b>₣業・一般事業</b>	一般事業		
	基本事業	2	林業	の活	生化					事	市単独事業	•国県補助事業	国県補助事業		
	短縮コード	111	会計	款	項	目		-	予算細事業名	業	任意的事業	≹∙義務的事業	任意的事業		
予算 科目	9980		一般	6	2	2	tハノい	虫防除事	± ₩	区	実	施方法	直営		
יין דו	9900		列又	U	۷	2	なべい	<b>玉</b> 的 陈 手	*未	分	事:	業分類	施設維持管	理事業(市主体)	
事業計画	事業 単年度繰り返し 事業 昭和53年度~ 年度 法令 森林病害虫等防除法										リーディン	グプロジェクト	討	核当なし	
計画	平十戊	木"	ル返し	事業 期間	中口不口び	,十戊·	十尺	条例等	林你焖古虫等奶除広		市長	市政公約			

- 1. 事務事業の現状把握【DO】
- (1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

100

382

4,106

正規職員従事人数 のべ業務時間 時間

費 人件費計(B) 千円

トータルコスト(A)+(B) 千円

(	1)=	事務事業の手段・日的・結果・各指標								
(1	)手	段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令	和3年度実	績(令和3年	度に行った主	な活動内容	)		
	外防	生している松くい虫の被害対策として、地上5除、樹幹注入、衛生伐を実施する。 実施森林 唐沢山(対象面積:93ha)	松くい虫防除事業 予防事業: 樹幹注入 駆除事業:衛生伐 被電				<b>吉沢山</b> )			
		愛宕山(対象面積:19.55ha)								
		予防事業 樹幹注入(2月) 駆除事業 衛生伐(1月)	活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	
			予防実施面積	ha	112	112	112	112	112	
			樹幹注入の本数	本	10	23	29	16	21	
			駆除数量	m³	100	100	100	100	100	
		対象(この事務事業は誰・何を対象としていま								
	财	5除対象森林	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 ( <u>実績)</u>	R2年度 (実績)	R3年度 ( <u>実績</u> )	
			対象松林面積	ha	112	112	112	112	112	
			樹幹注入の対象本数	本	125	125	111	111	111	
le	3 3	意図(この事務事業によって、対象をどのよう	」 うな状態にしたいのですか^	?)						
		公い虫被害の減少	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	
			予防実施面積/対象松林 積	9/0	100	100	100	100	100	
			樹幹注入の本数/樹幹注 の対象本数	-	8.0	18.4	26.1	14.4	18.9	
4	D 結	果(どのような結果に結びつけますか?)								
	侹	全で木材生産性の高い森林が創出される。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	
			木材伐採面積	ha	444.7	149.5	195	287	301	
(	2) {	総事業費の推移・内訳								
È		財源内訳 単位 H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度	(実績)	R2年度	(実績)	R3年度	(実績)	
		国庫支出金 千円								

	<b>                   </b>	十円										
	県支出金	千円		1,910		2,177		2,360		1,786		1,968
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		1,814		1,894		1,873				
重	事業費計(A)	円		3,724		4,071		4,233		1,786		1,968
業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
費			業務委託料	<b></b>		l		1,320	業務委託料	1,364	業務委託料	1,243
			補助金	2,450	補助金	2,775	補助金	2,913	補助金	422	1110-22-	725
	車業患の							<b> </b>				l <b>l</b>
	サ末貝の一	千円						<b> </b>				
	1.311/							<b> </b>				
								<b> </b>				
				ļ				 				
	事業費	県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計(A) 千円 業 費	県支出金     千円       地方債     千円       その他     千円       一般財源     千円       事業費計(A)     千円       事業費の内訳     千円	県支出金     千円     1,910       地方債     千円	県支出金     千円       地方債     千円       その他     千円       一般財源     千円       事業費計(A)     千円       項目     事業費       業務委託料     1,274       補助金     2,450       補助金     2,450       補助金     2,450	県支出金     千円     1,910     2,177       地方債     千円     70他     千円       その他     千円     1,814     1,894       事業費計(A)     千円     3,724     4,071       事業費計(A)     千円     項目     事業費     項目     事業費       業務委託料     1,274     業務委託料     1,296       補助金     2,450     補助金     2,775	事業費の内別     千円       事業費の内別     千円       1,910     2,177       1,910     2,177       1,814     1,894       1,814     1,894       1,814     1,894       1,814     1,894       1,814     1,894       1,814     1,894       1,814     1,894       1,814     1,894       1,894 <t< td=""><td>事業費の内別     千円       事業費の内別     千円       1,910     2,177       2,360       2,360       2,360       2,360       2,360       2,360       3,724       4,071       4,233       3,724       4,071       4,233       3,724       4,071       4,233       3,724       4,071       4,233       3,724       4,071       4,233       4,233       5,75       4,071       4,233       5,85       5,775       4,071       4,233       5,87       5,92       6,87       7,75       4,071       4,233       7,873       9,00       1,873       4,071       4,233       8,85       1,296       2,775       4,071       4,233       7,873       1,296       2,360       3,775       4,071       4,071       4,071       4,233       8,85       1,874       1,874</td><td>県支出金     千円     1,910     2,177     2,360       地方債     千円     その他     千円       一般財源     千円     1,814     1,894     1,873       事業費計(A)     千円     3,724     4,071     4,233       項目     事業費     項目     事業費     項目       業務委託料     1,274     業務委託料     1,296     業務委託料     1,320     業務委託料       補助金     2,450     補助金     2,775     補助金     2,913     補助金</td><td>県支出金     千円     1,910     2,177     2,360     1,786       地方債     千円     その他     千円       一般財源     千円     1,814     1,894     1,873       事業費計(A)     千円     3,724     4,071     4,233     1,786       事業費計(A)     千円     項目     事業費     項目     第     表別委託料     1,364</td><td>事業費の内別       千円       1,910       2,177       2,360       1,786         1,786       1,786       1,786       1,786         1,814       1,894       1,873         1,814       1,894       1,873         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,384         1,296       2,85         1,320       2,85         1,320       2,85         1,320       2,85         1,321       2,85         1,322       2,85         1,323       2,</td></t<>	事業費の内別     千円       事業費の内別     千円       1,910     2,177       2,360       2,360       2,360       2,360       2,360       2,360       3,724       4,071       4,233       3,724       4,071       4,233       3,724       4,071       4,233       3,724       4,071       4,233       3,724       4,071       4,233       4,233       5,75       4,071       4,233       5,85       5,775       4,071       4,233       5,87       5,92       6,87       7,75       4,071       4,233       7,873       9,00       1,873       4,071       4,233       8,85       1,296       2,775       4,071       4,233       7,873       1,296       2,360       3,775       4,071       4,071       4,071       4,233       8,85       1,874       1,874	県支出金     千円     1,910     2,177     2,360       地方債     千円     その他     千円       一般財源     千円     1,814     1,894     1,873       事業費計(A)     千円     3,724     4,071     4,233       項目     事業費     項目     事業費     項目       業務委託料     1,274     業務委託料     1,296     業務委託料     1,320     業務委託料       補助金     2,450     補助金     2,775     補助金     2,913     補助金	県支出金     千円     1,910     2,177     2,360     1,786       地方債     千円     その他     千円       一般財源     千円     1,814     1,894     1,873       事業費計(A)     千円     3,724     4,071     4,233     1,786       事業費計(A)     千円     項目     事業費     項目     第     表別委託料     1,364	事業費の内別       千円       1,910       2,177       2,360       1,786         1,786       1,786       1,786       1,786         1,814       1,894       1,873         1,814       1,894       1,873         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,786         1,786       1,384         1,296       2,85         1,320       2,85         1,320       2,85         1,320       2,85         1,321       2,85         1,322       2,85         1,323       2,

100

382

4,453

100

382

4,615

90

327

2,113

90

327

2,295

事務事業名 松くい虫防除事業 担当部 産業文化スポーツ部 担当課 農山村振興課 担当係 森林整備係

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等 ①この事務事業は、いつ頃、どのような 松くい虫による被害は、昭和50年に県内の野木町で確認されて以来、佐野市においても急速に拡 きっかけで開始しましたか? 大したため、被害拡大の防止を目指し、昭和53年度から事業を開始した。 ②事務事業を取り巻く環境(対象者や 現在被害は横ばい状態であるが、被害防除を実施しなければ全滅の恐れもある。公益的機能維持 増進の重要性が認知されてきている。 国・県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期や合併前と比べて どのように変化していますか? ③この事務事業に対して、関係者(市 松が佐野市の木に選定されたこともあり、議会などでも「景観高揚や危険防止の観点から、松くい虫 民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか? 被害による枯損木の伐倒駆除に取組むべき」、「抵抗性の高い松の植樹を検討してみてはどうか」と の意見が出ている。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

#### 2. 事務事業の事後評価【Check】

	①政策体系との整合性 この	事務事	業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?										
目	結びついている	理由· 改善案	この事業は、森林の有する多面的機能の保全を図ることを目的としているため、被害を減少させることにより、その保全確保と森林整備に結びつくものである。										
的	②公共関与の妥当性 なぜこ	の事務事	業を市が行わなければならないのですか? 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか?										
妥当性評	委ねられる·委ねられる可 能性がある	理由· 改善案	法令等により定められている。また、継続的に実施しなければ効果が薄れ、森林の保全が図れない。										
価	③対象・意図の妥当性 事務	事業の現	見状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか?										
	妥当である	理由· 改善案	法令等の規定により高度公益機能森林及び地区保全森林を設定し、守るべき松林を絞り込むこと により、より効果的かつ限定的に松くい虫被害を防除している。										
	④事務事業の成果向上余地	事務事業	の成果は出ていますか? 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか?										
有効	成果向上余地がない	理由• 改善案	松くい虫防除の成果が出ており、向上余地はない。										
性	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか? ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか?												
評		類似事	務事業名										
価	類似事務事業はない	理由· 改善案											
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	以古木											
効	⑥事業費・人件費の削減余均	也 事務事	事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか?										
率性評価	削減の余地はない	理由· 改善案	事業は入札等により実施しており、栃木県より示された標準金額により設計金額を算出しているため、これ以上の削減の余地はない。										
公	⑦受益者負担の適正化余地	この事務	事業の受益者は誰ですか?事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか?										
平性評価	受益者負担を求める必要がない	理由· 改善案	自然資源を保全することで、公益的機能を受けるのは松林所有者だけではないため、松林所有者のみを受益者として費用負担させることは適当ではない。										
総	⑧本事業の休止・終了条件(	本事業に	はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)										
合評価	松くい虫の被害がなくなり、泫	も 令の定の	めがなくなったとき。										

(1)今後の事務事業の方向性	(2	)改革	-改善	による	朝待効	果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
現状維持(従来通り実施)				合は、言 さ改善で			
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。				コスト			
(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)			削減	維持	増加		
		向上					
	:	成 維果 持		0	×		
		低下		×	×		

HII	四对多十八	_	ተነ የተ	J	十戊						-	水件水コー	1202		
主弘	事業名	胆		進支	·拉耳	<b>₹</b>				評值	西区分(事前	評価・事後評価)	事後評	価(A•B表)	
争的	1 争未有	月	אואוו	连又	.1友寺	未				担	=	産業文化スポーツ部	担当課	農山村振興課	
	基本目標	1	魅力	ある盾	産業で	賑わ	う活力	あるま	ちづくり	組	織 担当係	森林整備係	担当課長名	大川 登	
政策	政 策	2	地域	資源を	を活か	した	まちつ	らり			新規事業	業∙継続事業	継	続事業	
体系	施策	3	中山	間地均	或の流	舌性化	í				実施計画等	事業•一般事業	実施計画事業		
	基本事業	事業 2 林業の活性化									市単独事業	•国県補助事業	市単独事業		
- m	短縮コード	5	会計	款	項	目		予算細事業名			任意的事業	業·義務的事業	任意的事業		
予算 科目	10009		一般	6	2	2	四米和	足進支援	車 柴	区	実	施方法		直営	
17 🗀	10009	009   -		O	2		IBJ J.Z. I	E 连 义 扬 ·	尹禾	分	事	業分類	支	援事業	
事業計画	当年由	事業 単年度繰り返し 期間 年度~		F度~	年度	根拠 法令	佐野市間伐推進事業補助		リーディン	グプロジェクト	該	対なし			
計画	半十反	深り	ル区し	期間	-4	F皮~	十戊	条例等	金交付要領		市長	市政公約			

- 1. 事務事業の現状把握【DO】
- (1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

_	/ 事務事業の子段・日内・福木・台相保							
(1)	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)							
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和33	F度実	績(令和3年	度に行った主	な活動内容	)	
	森林の荒廃と森林の多面的な機能が損なわれつつあるため、要間伐森林での間伐を実施した場合に10,000円/haを補助する。	間伐実施面積 42.27ha 補助金の交付額 422,700円						
	森林所有者への補助金交付事務(申請~補助金交付)	<b>マチェート・エ</b>	22/1	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		活動指標	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
		補助金を交付した間伐実施面 積	ha	47	42	46	46	42
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としている	きすか?)				and the str		<b>-</b> 0.55
	市内にある要間伐森林。	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 <u>(実績)</u>
		要間伐森林面積	ha	5,968	5,968	5,968	5,968	5,968
目	③意図(この事務事業によって、対象をどのよう	な状態にしたいのですか?)						
	適正な森林整備を推進する。	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		補助金を交付した間伐実施面 積/木材伐採面積	%	11	28	24	16	14
4	 結果(どのような結果に結びつけますか?)							
	健全で木材生産機能の高い森林を創出する。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		木材伐採面積	ha	445	150	195	287	<b>30</b> 1
	2)総事業費の推移・内訳							

(2	)総	事業費の推	移•内											
		財源内訳	単位	H29年度(実	績)	H30年度(実	績)	R1年度(実統	責)	R2年度(実統	責)	R3年度(実績)		
		国庫支出金	千円											
		県支出金	千円											
		地方債	千円											
		その他	千円											
		一般財源	千円		465	418		463			462		423	
	車	事業費計(A)	千円		465		418		463		462		423	
	事業費			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
投	費			補助金	465	補助金	418	補助金	463	補助金	462	補助金	423	
え		事業費の									<b>.</b>			
量			千円											
		内訳	十円											
-	1	正規職員従事人数	Y		1		1		1		1		1	
	$\sim$		時間		20	20			20	20		20		
	費	人件費計(B)	千円		76	76					73			
-	トータ	タルコスト(A)+(B)	千円	541			494		539		535			

事務事業名 間伐促進支援事業 担当部 産業文化スポーツ部 担当課 農山村振興課 担当係 森林整備係

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等 ①この事務事業は、いつ頃、どのような 以前か 以前からみかも森林組合より間伐等の助成について要望が出されていたが、近隣の市町でも間伐 きっかけで開始しましたか? 助成を実施しているため、平成18年度より佐野市でも助成が始まった。 ②事務事業を取り巻く環境(対象者や 国・県などの法令等、社会情勢など)は 長引く材価の低迷により、森林所有者の維持管理もままならず、荒廃した森林が多くなっている。 事務事業の開始時期や合併前と比べて どのように変化していますか? ③この事務事業に対して、関係者(市 補助の対象となる林齢を拡げて欲しいとの声を聞いた。 民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか?

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	が は 日の 状性
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

#### 2. 事務事業の事後評価【Check】

	①政策体系との整合性 この	_	業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?
目	結びついている	理由· 改善案	材価の低迷による林業離れ、森林の荒廃を防ぐために、要間伐森林の間伐を支援するもので、林業の活性化に結びつく。
的	②公共関与の妥当性 なぜこ	の事務事	業を市が行わなければならないのですか? 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか?
妥当性評	市が行わなければならない	理由· 改善案	現状のままでは、林業の衰退、森林の公益的機能が失われるため。
価	③対象・意図の妥当性 事務	事業の現	見状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか?
	妥当である	理由· 改善案	市内にある要間伐森林の間伐促進を支援し、森林の持つ公益的機能の保全・向上なので、妥当である。
	④事務事業の成果向上余地	事務事業	の成果は出ていますか? 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか?
有効	成果向上余地がある程度あ る	理由· 改善案	国、県の行う造林補助事業の上乗せを行っているが、国県補助の対象とならない間伐への補助及 び補助単価の増額を図り、赤字とならないようにすれば、成果向上が見込まれる。
性	⑤類似事務事業との統合・連携の	可能性 類	似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか? ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか?
評		類似事	務事業名
価	類似事務事業はない	理由・	
	*類似事務事業があれば、名称を記入	改善案	
効	⑥事業費・人件費の削減余均	也 事務事	事業の成果を低下させずに事業費·人件費を削減することができますか?
率性評価	削減の余地はない	理由· 改善案	周辺市町と比べて、佐野市の単価が一番安い。
公	⑦受益者負担の適正化余地	この事務	事業の受益者は誰ですか?事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか?
平性評価	現在の受益者負担は適正 である	理由· 改善案	事業費は、所有者が負担しており、その一部を支援しているため。
総	⑧本事業の休止・終了条件(	本事業に	よどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)
合	材価の高騰により市内の森林	木におけ	る標準伐期齢の間伐が適切に行われ、補助の必要がなくなった場合。
評			
価			

(1)今後の事務事業の方向性	(2)	)改革	•改善	による	期待効	果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
現状維持(従来通り実施)		止・休 の領 <sup>は</sup>					
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。				コスト			
(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)			削減	維持	増加		
		向上					
		成 維果 持		0	×		
		低下		×	×		

μіμ	47.7	127	1 /	_	13.11		一汉									X 111/X - 1	
事務	重	坐々	7	##	· <del>*</del>	木材	÷*:	<b>性</b> 生	少女	車業			評値	西区分(事前	評価・事後評価)	事後評	価(A•B表)
子加	) <del>   </del>	木1	-	<b>1</b> 11	`禾 ¯ ́	ለጉባህ ነ	生未	押坦	以牛	尹禾			担:	=	産業文化スポーツ部	担当課	農山村振興課
	基:	本目	標	1	魅力	ある産	産業で	賑わ	う活力	」あるま	ちづくり		組組	趙 担当係	森林整備係	担当課長名	大川 登
政策	政		策 2 地域資源を活かしたまちづくり									新規事業	葉•継続事業	継	続事業		
体系											実施計画事	■業・一般事業	一般事業				
	基:	本事	事業 2 林業の活性化						事	市単独事業	•国県補助事業	国県補助事業					
	短網	宿口-	一	113	会計	款	項	目			予算細事業名		業	任意的事業	僕∙義務的事業	任意	意的事業
予算 科目		988	<u>د</u>		一般	6	2	2	₩₩.	<b>大</b>			区八	実力	<b>施方法</b>		直営
I	,	990	J		沙文	U	2	۷	117末	小彻底来	(神足以牛尹木		分	事	業分類	支	援事業
事業計画	業 <mark>単年度繰り返し</mark> 事業 期間 年度~ 年度							リーディン	グプロジェクト	討	は当なし						
計画	画						市長市	市政公約									

- 1. 事務事業の現状把握【DO】
- (1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

	~ m / + 2 + 4 + - > 6 / 4 + + + + + = 1 + 1 + 1 + 1												
(1)	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和3	年度実	績(令和3年	度に行った主	な活動内容	)						
	地理情報システム(GIS)により森林簿や森林計画図等の情報及び法的規制や施業履歴などのデータを一元管理し、適切な森林整備を持続的に実施できる森林管理体制を整備する。	とちぎの元気な森づくり県民											
		活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)					
		導入台数	台	1	1	1	1	1					
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としている	ますか?)											
	佐野市内民有林	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)					
		市内にある対象民有林面積	ha	20,573	20,557	20,559	20,561	20,537					
_													
月	③意図(この事務事業によって、対象をどのよう	つな状態にしたいのですか?)											
的	森林管理事務等が効率的に行えるようにする。	成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 <u>(実績)</u>	R1年度 ( <u>実績)</u>	R2年度 (実績)	R3年度 <u>(実績)</u>					
		把握している民有林面積	ha	20,573	20,557	20,559	20,561	20,537					
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)												
	健全で木材生産性の高い森林が創出されている。	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)					
		間伐実施面積(単年度)	ha	384.2	112.3	124.4	164.1	204.9					
(2	り)総事業費の推移・内訳												

	財源内訳	単位	H29年度(実統
	国庫支出金	千円	

	7 1110	財源内訳	単位		責)	H30年度(実統	責)	R1年度(実績	[)	R2年度(実績	<b>(</b> )	R3年度(実	[績]
		国庫支出金	千円										
		県支出金	千円										
		地方債	千円										
		その他	千円										
		一般財源	千円		162		162		182		190		165
	車	事業費計(A)	千円		162		162		182		190		165
	事業費			項目	事業費	項目	事業費		事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費			消耗品費	L	消耗品費	l	消耗品費		消耗品費		消耗品費	0
入		事業費の 内訳		保守委託料	162	保守委託料	162	保守委託料	164	保守委託料	165	保守委託料	165
量							ļ		 				
			千円				ļ		ļ		ļ		
							 		 		<b></b>		
											ļ		
							 				<b></b>		
	_	正規職員従事人数	1		1		1		1		1		1
	件		時間		20		20		20		20		20
	書	人件費計(B)			76		76		76		73		73
	52	入什良司(D) タルコスト(A)+(B)			238		238		258		263		238
	r-:	メンコント(Y)+(R)	十円		238		238		208		203		238

事務事業名 林業・木材産業構造改革事業 担当部 産業文化スポーツ部 担当課 農山村振興課 担当係 森林整備係

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

(0) 事份事業と私力包入珠先支化 市民の	7态儿牙
①この事務事業は、いつ頃、どのような きっかけで開始しましたか?	平成20年度から始まった「とちぎの元気な森づくり県民税」事業や地球温暖化防止をはじめとした公益的機能の高度発揮のためにも森林整備事業の増大が見込まれるが、その管理を森林GISを導入して効率的に行うため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や 国・県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期や合併前と比べて どのように変化していますか?	森林整備に対する関心は年々高まっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか?	

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

### 2. 事務事業の事後評価【Check】

	①政策体系との整合性 この		業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?
	① 政采件 次 こ の 圭 日 日 こ の	7 7 7 7 7 7	この事務事業を実施することで、森林整備事務の効率化が図られるため、結果に結びつく。
目	結びついている	理由· 改善案	この争労争未ど夫心りることで、林怀定哺争労の効学にか凶られるため、和木に和いつへ。
的	②公共関与の妥当性 なぜこ	の事務事	業を市が行わなければならないのですか? 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか?
妥当性評	市が行わなければならない	理由• 改善案	森林法に規定されている事務等を効率的に処理するため。
価	③対象・意図の妥当性 事務	事業の現	見状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか?
	妥当である	理由· 改善案	みかも森林組合管内の民有林を対象に森林管理事務等が効率的に行えるようにするので、妥当で ある。
	④事務事業の成果向上余地	事務事業	の成果は出ていますか? 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか?
有効	成果向上余地がない	理由· 改善案	森林GISを導入して事務の効率化を図るもので、成果は十分出ている。
性	⑤類似事務事業との統合・連携の	可能性 類	似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか? ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか?
評		類似事	務事業名
価	類似事務事業はない	理由・	
	*類似事務事業があれば、名称を記入	改善案	
効	⑥事業費・人件費の削減余均	也 事務等	<b>事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか?</b>
率性評価	削減の余地はない	理由· 改善案	必要最小限の維持費であり削減する余地はない。
公	⑦受益者負担の適正化余地	この事務	事業の受益者は誰ですか?事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか?
平性評価	受益者負担を求める必要がない	理由· 改善案	コンピュータの維持管理経費のため受益者負担はない。
総	⑧本事業の休止・終了条件(	本事業に	はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)
合	地理情報システム(GIS)によ	る森林に	関するデータ管理が不要となった場合。
評			
価			

(1)今後の事務事業の方向性	(2)	)改革	•改善	による丼	朝待効	1果 (3)改革・改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
現状維持(従来通り実施)			止の場 は改革			
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。				コスト		
(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)			削減	維持	増加	7
		向上				
	j	成 維果 持			×	
		低下		×	×	

# 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 4 年 6 月 30 日 政策体系コード 1232

事務事業名       林道作原沢入線改良事業       評価区分(事前評価・事後評価)       事後評価(A・B表)         政策 (本系)       基本目標 1 魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり       担当部 (産業文化スポーツ部 (担当課 長山村振興課 担当係 素林整備係 担当課長名 大川 登 地域資源を活かしたまちづくり         (本系)       施 策 3 中山間地域の活性化       基本事業 2 林業の活性化       事業 (本書)       大川 登 新規事業・継続事業 経続事業 経続事業 と実施計画事業・一般事業 市単独事業・国県補助事業 市単独事業・国県補助事業 市単独事業・国・主要を設定しまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	4114	1712	· T /.	_	In J.H		十尺									****	.202																				
基本目標 1     魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり     組織     担当保 森林整備係 担当課長名     大川 登       政策 政 策 2     地域資源を活かしたまちづくり     新規事業・継続事業     継続事業       体系 施 策 3     中山間地域の活性化     事業       基本事業 2     林業の活性化     事業       短縮コード 会計 款 項 目 予算細事業名     予算細事業名       10003     一般 6 2 2     本地道作原沢入線改良事業       事業 単年度繰り返し     事業 令和2年度~     提拠 法令       計事 単年度繰り返し     事業 令和2年度~     提拠 法令	主教	車業を	7	++	一、一	: 店 汇	1 7 £E	and it	电线	£			評值	西区分(事前	評価・事後評価)	事後評	価(A•B表)																				
政策     2     地域資源を活かしたまちづくり     新規事業・継続事業       施策     3     中山間地域の活性化       基本事業     2     林業の活性化       予算       科目     10003     一般     6     2     2     林道作原沢入線改良事業       事業       単年度繰り返し     事業       中間     会社     表別     会社     表別     会社     人工     本社     本社	子加	尹木1		11	·旭 II	- /水 //\	ノノア	кчхр	マザオ	=				<b>→</b>	産業文化スポーツ部	担当課	農山村振興課																				
体系       施 策 3 中山間地域の活性化       実施計画事業・一般事業         基本事業 2 林業の活性化       事業 短縮コード 会計 款 項 目 予算細事業名       予算 和目 10003 一般 6 2 2 林道作原沢入線改良事業       大阪市単独事業・国県補助事業 市単独事業・直営 任意的事業・養務的事業 任意的事業・養務的事業 任意的事業・養務的事業 任意的事業・養務的事業 任意的事業・養務的事業 任意的事業・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・		基本目	標	1	魅力	ある産	産業で	賑わ	う活力	」あるまな	ちづくり		組約	織 担当係	森林整備係	担当課長名	大川 登																				
基本事業 2 林業の活性化     事業       短縮コード 会計 款 項 目 予算細事業名       予算 科目 10003 一般 6 2 2 林道作原沢入線改良事業       事業 単年度繰り返し 事業 令和2年度~ 法令   表本事業 2 林業の活性化     事業 十年度繰り返し 事業 令和2年度~ 法令	政策	政	策	2	地域	資源を	を活か	いした	まちづ	くり				新規事業	僕∙継続事業	継	続事業																				
支算     短縮コード     会計     款     項     目     予算細事業名       科目     10003     一般     6     2     2     林道作原沢入線改良事業       事業     単年度繰り返し     事業     令和2年度~     振拠       計画     中度繰り返し     事業     令和2年度~     法令	体系	施	毎 策 3 中山間地域の活性化							実施計画等	事業•一般事業	一般事業																									
短縮コード     会計     款     項     目     予算細事業名     業     任意的事業・義務的事業     任意的事業・ を実施方法       本書     10003     一般     6     2     2     林道作原沢入線改良事業       本業計画     単年度繰り返し     事業 ・ つ和2年度~     根拠 ・ 法令     リーディングプロジェクト     該当なし		基本事	業	2 林業の活性化									事.	市単独事業·国県補助事業 市単			単独事業																				
科目     10003     一般     6     2     2     林道作原沢入線改良事業       事業     単年度繰り返し     事業       ・計画     中間     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		短縮コ	ード	11	会計	款	項	目		-	予算細事業名			任意的事業	業·義務的事業	任為	意的事業																				
事業     単年度繰り返し       事業     令和2年度~       は会   ・ おきままます。		1000	13		фл	6	2	2	お送り	上面沿入乡	迫水白車業			実	施方法		直営																				
表示 単年度繰り返し	I	1000	,3		川又	U	2		作地「	トバ・ハヘノヘル	水以及尹未		ガ	事	業分類	施設維持管	理事業(市主体)																				
計画	事業	当年	<b>庄</b> 组		교	事業	<b>△</b> 1	一つ年	# 4	根拠				リーディン	グプロジェクト	該	<b>š当なし</b>																				
	計画	半十	早干及和		早干及和		早干及作		早午皮色		早平度和		甲年度約		単年度統		単年度和		甲年度約		単年度約		鱼年度網	沫り	が返し	期間	TJΛ	112+1:	支.*					市長	市政公約		

1. 事務事業の現状把握【DO】

費 人件費計(B) 千円

トータルコスト(A)+(B) **千円** 

(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標

1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)							
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和3	年度実	績(令和3年	度に行った主	な活動内容	!)	
	緊急自然災害防止対策事業債を活用し、林道 作原沢入線の改良工事を行う。	林道作原沢入線法面改良工事 工事延長 L=16m	(令和4	4年度へ繰越	<u>;</u> )			
		活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		改良工事の実施	箇所				1	0
	<b>◎ - 1.4.4.4.7.7.4.4.4.4.4.7.1.4.4.4.4.4.4.4.</b>	+++0						
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としている	ますか?)		I	I		I	
	林道作原沢入線	対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		延長	m	(30,130)	(30,136)	(201367	13,849	13,849
目	③意図(この事務事業によって、対象をどのよう	       5な状態にしたいのですか?)						
	改良工事を行う	成果指標	単位	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		***************************************	甲亚	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
		改良工事の実施	箇所				1	0
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)							
	林道作原沢入線の安全性を向上させる	上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)
		林道の整備延長	m				63,195	63,195
(2	2)総事業費の推移・内訳							

		財源内訳	単位	H29年度(実	績)	H30年度(実績	漬)	R1年度(実績	()	R2年度(実績	<b>[</b> )	R3年度(実約	責)																	
		国庫支出金	千円																											
		県支出金	千円																											
		地方債	千円							7,500																				
		その他	千円																											
		一般財源	千円							90																				
	事	事業費計(A) 千円		0		0		0		7,590		0																		
	業	ま業典の			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費																
投	費						<u></u>			工事請負費	7,590	工事請負費	0																	
入						ļ				 		ļ																		
量																						<b>.</b>		ļ		 		ļ		
			千円				ļ		 																					
					ļ		ļ		ļ		ļ																			
						<b>.</b>		ļ		 		<b></b>																		
						ļ		ļ				ļ																		
	H																													
	싰	正規職員従事人数	人										1																	
	件	のべ業務時間	時間								40		40																	

0

0

0

0

0

145

7,735

145

145

事務事業名 林道作原沢入線改良事業 担当部 産業文化スポーツ部 担当課 農山村振興課 担当係 森林整備係

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等 ①この事務事業は、いつ頃、どのような | 林道作原沢入線においては、風雨などの影響により、法面の表層で小規模な崩落が生じており、表 きっかけで開始しましたか? 面を覆う植物も減少しており、対策が必要な状態にある。 ②事務事業を取り巻く環境(対象者や 国・県などの法令等、社会情勢など)は インフラの老朽化対策や防災対策のため、公共施設の適切な維持管理、更新等を着実に進めるこ とが求められている。 事務事業の開始時期や合併前と比べて どのように変化していますか? ③この事務事業に対して、関係者(市 林道作原沢入線の安全な通行に対して議会・市民から関心を持たれている。 民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか?

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	以上の名が状態
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

#### 2 事務事業の事後評価【Check】

۷.	事務事業の事後評価【Check	<b>1</b>								
	①政策体系との整合性 この	)事務事	<b>業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?</b>							
目	結びついている	理由· 改善案	林業の基盤である林道の改良を行うことは、林業の振興につながる。							
的	②公共関与の妥当性 なぜこ	の事務事	業を市が行わなければならないのですか? 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか?							
妥当性評	市が行わなければならない	理由· 改善案	林道は山村の生活環境の向上の面でも重要な役割を果たしており公共性が高いため、市が管理しなければならない。							
価	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか?									
	妥当である	理由· 改善案	林業の基盤である林道の安全性向上のため改良を行う。							
	④事務事業の成果向上余地	事務事業	の成果は出ていますか? 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか?							
有効	成果向上余地がない	理由• 改善案	改良により安全性向上の成果が出ている。							
性	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか? ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか?									
評		類似事	務事業名							
価	類似事務事業はない	理由・改善案								
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	以古木								
効	⑥事業費・人件費の削減余り	也 事務事	F業の成果を低下させずに事業費·人件費を削減することができますか?							
率性評価	削減の余地はない	理由• 改善案	事業費は、改良のための工事費のみである。							
公	⑦受益者負担の適正化余地	この事務	事業の受益者は誰ですか?事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか?							
平性評価	受益者負担を求める必要がない	改善案	市が管理する林道の改良を行うものであり、負担を求めるものではない。							
総	⑧本事業の休止・終了条件(	本事業に	はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか?)							
合評価	緊急自然災害防止対策事業	債を活用	した事業である。							

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果					果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。					
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。				コスト			
(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)			削減	維持	増加		
		向上					
	j	成 維果 持		0	×		
		低下		×	×		